

# 飛騨川森林計画区

## 第五次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成29年 4月 1日  
至 平成34年 3月31日

林野庁中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は、平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間である。

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプの施業群別の上限伐採面積	3
(4)	伐採総量	4
(5)	更新総量	6
(6)	保育総量	6
3	林道の整備に関する事項	7
4	治山に関する事項	10
5	保護林の名称及び区域	11
6	レクリエーションの森の名称及び区域	13
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域等	14
8	その他必要な事項	15
(1)	施業指標林、試験地等	15
(2)	フィールドの提供	17
(3)	森林共同施業団地	18
(4)	その他	18

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域  
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量  
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a、年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
単層型 (短期)	小面積 分散伐区 枝打	921.65	育成単層 林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となり、林齢、林相が異なる多様な森林で、枝打により材の付可価値を高めた林木からなる森林。	スギ 50 ヒノキ 50
	小面積 分散伐区	970.53	育成単層 林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 60 ヒノキ 65 カラマツ 60
(長期)	長伐期	5,619.80	育成単層 林施業	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	スギ 120 ヒノキ 130 カラマツ 100

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齡 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
複層型	人工林 複層伐  (常時複層)	605.59	育成複層 林施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林。	スギ 120[60] ヒノキ 130[65] カラマツ 100[60] ----- スギ 85[60] ヒノキ 90[65] カラマツ 85[60] -----
	(一時単層)				スギ 80[60] ヒノキ 85[65] カラマツ 80[60]
	人工林 長伐期 複層伐				740.64
漸伐 複層型	人工林漸 伐複層型	1,149.22	育成複層 林施業	人工林又は天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	80
	天然林漸 伐複層型	1,894.29	育成複層 林施業		N 200 L 180
択伐 複層型	人工林択 伐複層型	2,776.80	育成複層 林施業	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	85 (35)
	天然林択 伐複層型	849.62	天然生林 施業		N 200 (35) L 180 (25)
その他		50.91	試験地等の設定目的による。		
合計		15,579.05			

- (注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。  
 2 ( ) は回帰年、[ ] は初回伐採の伐期齢である。  
 3 人工林複層伐の常時複層状態となるタイプの二段書きは、後伐の伐期齢を二通り設けたものである。

(3) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施 業 群	上 限 伐 採 面 積
小 面 積 分 散 伐 区 枝 打	92.16
小 面 積 分 散 伐 区	74.65
長 伐 期	216.14
人 工 林 複 層 伐	73.85
人 工 林 長 伐 期 複 層 伐	41.14
漸 伐 複 層 型	76.08
択 伐 複 層 型	518.06

- (注) 1 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の面積である。  
 2 契約に基づいて主伐を実施する分収林が含まれる場合は、上限伐採面積を超えて定めることができる。

## (4) 伐採総量

(単位：m<sup>3</sup>、ha)

区 分		林 地					林地 以外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山地 災害 防止 タイプ	土砂流出崩壊防備		(117.55) 12,099	12,099				
	気象害防備							
	計		(117.55) 12,099	12,099				
自然維持タイプ								
森林空間利用タイプ								
快適環境形成タイプ								
水 源 かん 涵 養 タ イ プ	小面積分散伐区枝打	(105.67) 44,704	(170.63) 17,828	62,532				
	小面積分散型	(100.96) 44,046	(136.97) 14,717	58,763				
	長 伐 期	(7.35) 2,570	(888.19) 89,335	91,905				
	人工林複層伐	(16.52) 1,465	(30.30) 3,489	4,954				
	人工林長伐期複層伐		(110.21) 16,742	16,742				
	人工林漸伐複層型		(78.76) 8,324	8,324				
	人工林択伐複層型		(327.64) 30,705	30,705				
	そ の 他		(0.37) 27	27				
	計	(230.50) 92,785	(1,743.07) 181,167	273,952				
合 計		(230.50) 92,785	(1,860.62) 193,266	286,051	28,949	315,000	315,000	
年 平 均		(46.10) 18,557	(372.12) 38,653	57,210	5,790	63,000	63,000	

(注) 1 ( ) 書きは伐採面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位 : m<sup>3</sup>)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
下 呂 市	60,580	158,825	219,405				
七 宗 町	30,711	28,061	58,772				
東 白 川 村	1,494	6,380	7,874				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。



## (5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成					171.95	171.95
	複層林造成					4.96	4.96
	計					176.91	176.91
天然 更新	天然下種第1類						
	天然下種第2類						
	計						
合 計						176.91	176.91

## (6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプ	合 計
保 育	下刈					1,055.21	1,055.21
	つる切						
	除伐	34.32				438.24	472.56
	枝打					17.07	17.07

3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・その他別	開設・改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考	
基幹	改良	阿多粕鈴蘭（上）	1ほか	1箇所	10	
		阿多粕鈴蘭（下）	26ほか	1箇所	20	
		松尾小黒川（松尾）	9ほか	1箇所	10	
		松尾小黒川（小黒川）	18ほか	1箇所	10	
		落合榎谷	82ほか	2箇所	20	
		若栃榎谷（上）	119ほか	1箇所	10	
		若栃榎谷（下）	137ほか	1箇所	10	
		鹿山西俣（鹿山）	179ほか	1箇所	20	
		鹿山西俣（西俣）	151ほか	1箇所	10	
		小坂下呂	184ほか	2箇所	2,010	
		赤沼田上田俣（上）	203ほか	1箇所	10	
		赤沼田上田俣（中）	219～221	1箇所	10	
		赤沼田上田俣（下）	232～234	2箇所	20	
		川上本谷（川上）	1008ほか	1箇所	10	
		川上本谷（本谷）	1171ほか	1箇所	10	
		御岳御厩野	1135ほか	1箇所	10	
		菅田大柿	1207ほか	2箇所	1,030	
		計	21箇所	3,230		
その他	開設	門坂松尾	4,5,7	1箇所	960	
		ミソスリ支線	37,38	1箇所	500	
		濁河オリシキ（オリシキ）	72～74	1箇所	1,000	
			計	3箇所	2,460	
改良	改良	門坂松尾	3,4	1箇所	10	
		小黒川	19ほか	1箇所	10	
		赤石	25ほか	1箇所	10	
		赤石支線	21ほか	1箇所	10	
		ミソスリ	36ほか	1箇所	10	
		ミソスリ支線	36,37	1箇所	10	
		一ノ谷	46ほか	1箇所	10	
		濁河オリシキ（オリシキ）	56ほか	1箇所	10	

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考
その他	改良	濁河山	59、60	1箇所	10
		与左エ門	114ほか	1箇所	10
		唐立谷	125ほか	1箇所	10
		空中岩	164	1箇所	10
		中呂山	187ほか	1箇所	10
		イタドリ	201、203	1箇所	10
		小ヶ倉	207	1箇所	10
		赤沼田	219ほか	2箇所	30
		滝上洞畑（上）	235、236	1箇所	10
		滝上洞畑（下）	241、242	1箇所	10
		滝上洞畑（間伐）	239、240	1箇所	10
		滝上	241	1箇所	10
		細尾	244、245	1箇所	10
		細尾（間伐）	1002ほか	1箇所	10
		北の俣	1007ほか	1箇所	10
		クラミ谷大洞	1014ほか	2箇所	30
		黒石西俣（黒石）	1025、1026	1箇所	10
		黒石西俣（西俣）	1046、1048	1箇所	10
		長洞	1037ほか	1箇所	10
		厚谷神割（厚谷）	1057ほか	1箇所	10
		厚谷神割（神割）	1075ほか	1箇所	10
		畑サコ	1081、1082	1箇所	10
		高天良	1082	1箇所	10
		久野川	1093、1094	1箇所	10
		下呂	1103、1104	1箇所	10
		釣鐘	1105ほか	2箇所	30
		黒谷	1114、1115	1箇所	10
		三ツ石（軽車）	1126ほか	1箇所	10
		堂洞	1132ほか	1箇所	10
		堂支線	1165ほか	1箇所	10
		星谷	1166	1箇所	10
		釜ヶ岳	1202	1箇所	10
		御代谷	1203ほか	1箇所	10
	1212、1214	1箇所	10		

(単位：m)

基幹・その他別	開設・改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考
その他	改良	小川支線	1212、1217	1箇所	10
		小川支線	1215ほか	1箇所	10
		七宗	1219ほか	1箇所	10
		ジヨウレンジ	1219、1222	1箇所	10
		中ノタ	1223、1228	1箇所	10
		岩井	1227ほか	2箇所	30
		室兼	1231ほか	1箇所	10
		ヒゲスリ	1234	1箇所	10
		榎の木(北)	1237、1238	1箇所	10
		榎の木(南)	1239ほか	1箇所	10
		ケヤキ	1241、1242	1箇所	10
		細洞	1246ほか	1箇所	10
		笹ケタ	1252	1箇所	10
		位山	1301、1302	1箇所	10
		越原	2175ほか	2箇所	30
伊勢	2179ほか	1箇所	10		
	計		63箇所	680	
合計	開設		3箇所	2,460	
	改良		84箇所	3,910	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
榎谷 1、榎谷 3、若栃 4、鹿山 3、鹿山 6、 小黒川 8、馬瀬川中流 3、馬瀬川中流 4、 竹原川 1、竹原川 2、竹原川 3、竹原川 4、 中山 1、白川 1、七宗 6	保 全 施 設	溪 間 工	15
榎谷 1、榎谷 3、榎谷 4、若栃 4、鹿山 6、 小黒川 2、小黒川 3、小黒川 8、 山之口川 2、馬瀬川中流 3、馬瀬川中流 4、 竹原川 1、竹原川 2、竹原川 3、竹原川 4、 中山 1、白川 1、七宗 6	保 全 施 設	山 腹 工	18
	保 全 施 設	そ の 他	
飛騨川計画区管内の保安林区域内	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	1,302.12
合 計	保 全 施 設	溪 間 工	15
		山 腹 工	18
		そ の 他	
	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	1,302.12

(注) 1 保全施設の計画量「箇所」数は「単位流域」数を表す。

2 位置は単位流域を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区画

ア 生物群集保護林保存地区

(単位：ha)

名 称	新 設 既設別	面 積	位 置 (林 小 班)	特 徴 等	施 業 等										
御 岳	新 設	1,567.56	66わ 78い・に 79い・は・イ・ロ 80い～は・イ～ハ 81い・ろ 105ほ～ち・つ 106ほ 107は 108ろ 109は	御嶽山の山頂周辺は、火口カルデラ、噴気口、火口湖等の火山地形や、周氷河地形等の特徴を有する。これに地域固有の植生等が分布していることから、これらを有する森林の保護・管理を図る。	原則として、人手を加えず自然の推移に委ねた保護管理を行う。 当該保護林に外接する森林においては、当該保護林の急激な環境の変化を避けるため、原則として皆伐等による施業は行わないものとし、複層伐及び択伐を中心とした育成複層林施業又は天然生林施業を行う。										
		<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>飛驒川</td> <td>: 1,567.56</td> </tr> <tr> <td>宮・庄川</td> <td>: 394.76</td> </tr> <tr> <td>木曾谷</td> <td>: 1,159.29</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black;">計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3,121.61</td> </tr> </table>	飛驒川	: 1,567.56	宮・庄川	: 394.76	木曾谷	: 1,159.29	計			3,121.61			
飛驒川	: 1,567.56														
宮・庄川	: 394.76														
木曾谷	: 1,159.29														
計															
	3,121.61														
面 積 計		1,567.56													

## イ 希少個体群保護林

(単位：h a)

名 称	新 設 既設別	面 積	位 置 (林 小 班)	特 徴 等	施 業 等
赤沼田天保 ヒノキ	新 設	3.25	232い・ろ	<p>天保年間に植栽されたヒノキ等の人工林で、中部森林管理局管内の国有林では最も古い人工林である。</p> <p>学術上及び施業上の上からも貴重なため、このヒノキ個体群の保護・管理を図る。</p>	<p>原則として、人手を加えず自然の推移に委ねた保護管理を行うこととするが、当該個体群(ヒノキ)の保護・増殖に必要な森林施業は可能とする。</p> <p>当該保護林に外接する森林においては、当該保護林の急激な環境の変化を避けるため、原則として皆伐等による施業は行わないものとし、複層伐及び択伐を中心とした育成複層林施業又は天然生林施業を行う。</p>
面 積 計		3.25			

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(1) 自然休養林

(単位：ha)

名称	既設 新設	面積	位置 (林小班)	選定 理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
御岳	既設	598.93	64い~る・ か~ね・ら・う・ の・く・こ・ め~ひ 65い~は・る・ よ・た・ね~む・ の 66と 67ろ・に・と・ ち・ぬ・る・か・ れ~つ・ら~お・ け・て・き~み 78は・へ・か	御岳山の裾野に位置し、亜高山樹種の天然林とカラマツの人工林等からなる森林で、登山やハイキング、自然散策等の自然休養の場に適している。	育成複 層林施 業	・歩道 (下呂市)  ・駐車場 (下呂市)  ・宿泊施設 (民間)  ・スポーツ施設 (岐阜県)		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     飛驒川 : 598.93                      宮・庄川 : 1,667.33                      計 : 2,266.26                 </div>			64わ・な・む・ お・や~ふ・ え~ゆ・も 65に・へ~ぬ・ わ・か・れ~つ・ う・お~こ 66い~へ・ ち~る・か・よ 67い・は・ほ・ へ・り・わ・よ・ た・ね・な・ く~ま・ふ~え・ あ・さ・し 78ろ・ほ・と・ ぬ~わ 79ろ・に 80に・ほ		天然生 林施業	・教養施設 (岐阜県)		
			64イ 65イ~ニ 66イ~ハ 67イ 78イ~ハ		林地以 外			
面積計		598.93						



## (2) 風致探勝林

(単位：ha)

名称	既設 新設	面積	位置 (林小班)	選定 理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
馬瀬川	既設	26.98	1033に・ほ	木曾ヒノキ、モミ、ブナ、ミズナラ等からなる針広混交の天然林で、馬瀬川の清流と調和して四季折々の変化に富む自然景観に優れており、釣り、ハイキングや自然探勝に適している。	育成複層林施業	・歩道 (下呂市)  ・野営場 (下呂市)		
			----- 1033い		----- 天然生林施業			
			----- 1033イ・ロ		----- 林地以外			
面積計		26.98						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等  
該当無し

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：ha)

種類	名称	設定年度	面積	位置 (林小班)	備考
施業指標林	複層林 施業指標林	S59	14.57	18にか 21か 39ぬ	水土保全等の公益的機能と木材生産機能との調和の発揮等、複層林施業（2段林）の指標になる林分である。
		S49	1.24	1106へ	公益的機能の保持と地力の維持を図りつつ、優良材生産を目標とし、併せてスギの耐陰性と生育の検討等、複層林施業の指標になる林分である。
	間伐推進 施業指標林	S62 S61	0.96 2.23	192へ 1234い	市場価値の高い材木を収穫する間伐及び残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術の向上の指標になる林分である。
	ヒノキ人工林 長伐期 施業指標林	H24	0.79 0.86	96ろ 1127に	ヒノキ人工林の長伐期施業における林木成長や林況推移の指標となる林分である。
	スギ人工林 長伐期 施業指標林	H24	0.49	1241ほ	スギ人工林長伐期施業において強度間伐を実施した場合の林木成長や林況推移の指標となる林分である。
展示林	七宗大径材 生産展示林	S57	3.23	1207ち 1211は	大径材生産の施業林として長期的に存置し、国民各層への森林施業についての広報等に利用する林分である。
試験地	唐谷ヒノキ 人工林 収穫試験地	S36	0.37	125ほ	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。
	御岳トウヒ、シラベ 天然生林林分 成長量固定 調査地	S30	4.15	65ほ	天然林における成長量、枯損量等の資料を収集し、林分構造の推移を解明する。
	人工林漸伐 実行箇所 追跡調査	H3	0.25	221た	人工林漸伐施業において、伐採後の残存立木の成長量調査を行い施業の参考とする。
	赤沼田ヒノキ 人工林成長 試験地	S47	2.14	232い	高齢(天保年間植栽)人工林における成長量等の資料を収集し、林分構造の推移を解明する。

(単位：h a)

種 類	名 称	設 定 年 度	面 積	位 置 (林小班)	備 考
次 代 検 定 林	関名第23号	S62	1.01	30㌸	精英樹クローンの交配種子を用いて養成した苗木を植栽し、精英樹の遺伝的素質を検定するための林分である。
	関名第11号 一般スギ	S52	0.36	31㍑	
	関名第22号 一般スギ	S56	0.38	1074㌵	精英樹選抜による育種効果を十分に発揮させるため、現在の育種区を見直して行くことを検定するための林分である。
	関名第2号 一般ヒノキ	S50	0.34 0.33 0.33	1106㍑ 1107㌵ 1107㌵	精英樹クローンの交配種子を用いて養成した苗木を植栽し、精英樹の遺伝的素質を検定するための林分である。
	関名第イ試植 有名スギ	S40	2.26	1114い	導入した外国産樹種、国内樹種、在来種などの適応性並びに有望な育成系統を検定するための林分である。
	関名第26号 遺伝ヒノキ	H1	1.00	2177㌵	精英樹相互間の人工交配によって得る交配家系の生育結果から、各形質の遺伝様式を検定するための林分である。
遺 伝 子 保 存 林	ヒノキ	S46	2.35 2.60	35㌵ 233に	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保保存し、遺伝子補給源として活用する林分である。
精 英 樹 保 護 林	ヒノキ小坂1号	S30	0.20	29㌵	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。
	ヒノキ小坂4号	S36	0.20	39㌵	
	スギ岐阜1号	S31	0.25	1239㍑	
	スギ岐阜2号	S33	0.23	1239㌵	
巨 樹 ・ 巨 木 林	天保の大ヒノキ	H12	2.14	232い	「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」(平成11年12月20日付け林野業第182号林野庁長官通達)により選定された巨樹・巨木が賦存する林分である。
森 林 施 業 モ デ ル 林	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプ モデル林	H12	5.06	33㌵	公益的機能重視の森林施業の取り組みを国民に分かりやすくアピールするために設定するモデルである。

(単位：m)

種 類	名 称	設 定 年 度	延 長	位 置 (林小班)	備 考
溪 畔 保 全 プ ロ ジ ェ ク ト 林	山之口川	H28	3,238	1176と 1177へ・ち・る 1178は 1179ほ 1180に・へ 1182ほ 1183ろ・り・ぬ・る 1184い・と・か・よ・た 1185か・よ・た・れ 1186へ・り・ぬ・る・わ	

(2) フィールドの提供  
社会貢献の森

(単位：ha)

名 称	面 積	位 置	設 定 の 目 的 等
サントリー 「天然水の森 ぎふ東白川」 (平成22年度設定)	363.83	2175ろ〜ほ林小班 2176林班 2177い〜ほ・と〜り林小班 2178林班 2179林班 2180い〜に・ほ・へ〜ち林小班 2181林班 2182い・ろ〜に林小班 2183林班 2184林班 2185ろ〜へ・ち〜ぬ・イ林小班	協定相手方：サントリーホールディングス株式会社 協定期間：平成33年度末まで (平成28年度末更新) 目 的：土砂流出防備・水源涵 養機能の高度発揮と、環 境に優しい循環型資源で ある木材を供給できる人 工林の整備を目的とし、 森林の整備、調査研究及 び広報活動を実施する。
計	363.83		

## (3) 森林共同施業団地

(単位：ha)

名 称	対 象 地		面 積	連携した施業の内容	備 考
東白川村新巣地域	民	77、99、100林班	177	保育作業、間伐及び 作業路網開設	
	国	2175～2185林班	404		
計			581		
下呂市小坂町北東地区	民	29～45、53～57 64～69、82～93 144～145 林班	2,430.64	森林整備の推進・集約 化、林業専用道の整 備・相互利用	
	国	1～45林班 (1～2林班)	2,705.25 (91.36)		
計			5,135.89 (91.36)		
七宗町上麻生地区	民	14～55、147林班	2,004.32	森林整備の推進・集約 化、林業専用道の整 備・相互利用	
	国	1223い～1255は林小班	914.08		
計			2,918.40		

(注) 対象地及び面積の( )書きは官行造林地で外書き

## (4) その他

(単位：ha)

名 称	面 積	位 置	設 定 の 目 的 等
馬瀬溪流魚付き保全林 (平成15年度設定)	1,914.31	1001～1030林班 1031い～に林小班 1035林班 1043～1049林班 1052～1056林班 1074～1076林班	相 手 方：下呂市 覚 書 締 結：平成15年度 目 的：馬瀬川の溪流魚の生息 環境保全のため設定。
計	1,914.31		